

平成29年度行政評価結果（後期基本計画 第1章第2節「男女共同参画」）

施策の位置付け	1	章	互いを認め合う、ふれあいのまちづくり	節	2	男女共同参画
---------	---	---	--------------------	---	---	--------

■①施策に係る事業

No.	事業名	活動指標 累積達成度	成果指標 累積達成度	事業費 (円)	従 事 職員数	実 質 人員数	人件費 参考値 (円)	進行管理部会の評価				理事者評価
								重要性 (平均)		手法の妥当性 (平均)		
1	事業No. ゆう・あいフォーラム 等の啓発事業 (生涯学習部 人権啓発課)	20%	—	1,091,604	4	0.50	3,170,000	非常に高い 非常に低い	非常に高い 非常に低い	①男女別・年齢階層別にきめ細かいフォーラムの開催が重要である。 ②土日・祝日のスーパーでの啓発は家族連れも多く有効であると考えるが、平日では男性へのアピールが弱いのではないか。 ③街頭での啓蒙・啓発活動について、より効果的な手法の検討が必要。	【課題】 ・長年にわたり開催されている事業のため、ワンパターン化していないか検証が必要である。 ・新しく携わっていただける人材の発掘が必要である。 【解決策、取組の今後の方向性】 ・「ゆう・あいフォーラム」については、平成9年から取組を開始し今年度で20年の区切りを迎えるため、事業内容等について見直しを進める。 ・新たな人材に企画運営員として携わっていただけるよう、工夫を図る。 ・SNSの活用等、広告手法を検討し、新規層を取り込む工夫を図る。 ・ヒューマンフェスタと機能的に集約した形での開催を検討する。 ・男女共同参画の推進に精力的に取り組んでいる市民団体等のネットワーク拡大を促進する。	
2	事業No. 情報紙「ゆう・あい ネット」の発行 (生涯学習部 人権啓発課)	20%	—	304,672	3	0.25	1,585,000	非常に高い 非常に低い	非常に高い 非常に低い	①男女別・年齢階層別の特集を組む必要がある。 ②内容は素晴らしいが、もっと読みたくなる工夫が必要。特にデザイン性の改善が必要。	【課題】 ・多くの市民に閲覧いただける仕組みづくりが必要である 【解決策、取組の今後の方向性】 ・新規層を取り込めるようLINEやフェイスブック等多様な手段を活用し、常時情報発信できる仕組み作りを推進する。 ・ゆう・あいネットに広告を掲載するなど、事業周知と合わせて財源確保に努める。	
3	事業No. 男女共同参画講座の開 催 (生涯学習部 人権啓発課)	20%	—	398,221	4	0.40	2,536,000	非常に高い 非常に低い	非常に高い 非常に低い	①男女別・年齢階層別にきめ細かい講座が重要。開催の呼びかけや案内をする際にも階層ごとに変化が必要。 ②どのような講座が実施されているのか内容が分かりにくい。	【課題】 ・多くの市民に参加いただける工夫が必要である。 【解決策、取組の今後の方向性】 ・SNSの活用等、広告手法を検討し、新規層を取り込む工夫を図る。	
4	事業No. イクボス・プロジェク ト (生涯学習部 人権啓発課)	20%	—	55,200	3	0.20	1,268,000	非常に高い 非常に低い	非常に高い 非常に低い	①息の長い活動となるように、結果を重視して取組んでほしい。 ②具体的な民間企業への働きかけや、積極的な事業所に対する表彰、入札における優遇措置の導入等を検討いただきたい。	【課題】 ・民間企業にもイクボスに係る取組が広がるような環境整備を図り、実効性を高める必要がある。 【解決策、取組の今後の方向性】 ・対象を市役所職員に限らず、市内民間企業の職員等多くの人が参加できる環境整備を推進する。	
5	事業No. K Y I S S登録制度・ 女性人材登録制度・審 議会への女性の登用推 進事業 (生涯学習部 人権啓発課)	20%	61%	0	3	0.30	1,902,000	非常に高い 非常に低い	非常に高い 非常に低い	①登録制度も重要であるが、それをどのように生かしていくかが課題。活用方策を検討して具体化していただきたい。 ②市民の中から無作為抽出で委員を選出する仕組みを検討していただきたい。 ③一般からの登用は女性だけでも良いのではないか。 ④行政の裁量次第で登用率50%は即座に達成可能なはずである。	【課題】 ・審議会をはじめ市の政策決定過程等に参加いただいている女性が重複しており、より幅広く市民に参加いただける仕組みづくりが必要である。 ・各市民の興味・関心、専門性に合致した形での就任依頼が出来る仕組みづくりが必要である。 【解決策、取組の今後の方向性】 ・登録制度だけでなく、各分野に精通した女性や精力的に活動している女性を行政がリストアップして把握しておき(本人の同意不要)、必要に応じて就任依頼等が出来る仕組みづくりを検討する。	
6	事業No. 「ゆう・あいステップ プラン」実施計画の進 行管理 (生涯学習部 人権啓発課)	20%	20%	0	3	0.20	1,268,000	非常に高い 非常に低い	非常に高い 非常に低い	特に意見なし	【取組の今後の方向性】 ・「ゆう・あいステッププラン」の効果的・効率的な推進のため、引き続き進行管理を実施する。	
7	事業No. 女性の相談室 (生涯学習部 人権啓発課)	20%	21%	2,716,814	3	0.35	2,219,000	非常に高い 非常に低い	非常に高い 非常に低い	①相談事業自体は重要であるが、複数部署にまたがるような相談内容にも対応できる体制づくりが必要。 ②アウトリーチ（積極的な当事者への働きかけ）の取組を充実いただきたい。多様な情報収集・伝達手段の確保として、SNSの活用も有効ではないか。	【課題】 ・より多くの市民に事業を認識していただけるよう工夫が必要である。 【解決策、取組の今後の方向性等】 ・各種団体の発行している冊子への掲載等、多様な媒体により事業周知を図る。	
人件費（円、参考値）合計：					13,948,000							
事業費（円）合計：					4,566,511							

＜施策＞ 改善すべき点	【進行管理部会ヒアリング結果】 「男女共同参画」を含め、市の様々な広報紙や情報紙を一つの媒体にまとめるなど、効果的な広報のあり方について検討していく必要がある。
	【理事者ヒアリング結果】 男女共同参画社会の形成のため、生涯学習部として女性の登用促進の他、子育て支援や女性の就労支援についても、他部局と連携して取り組む必要がある。
＜施策＞ 今後の方向性	【進行管理部会ヒアリング結果】 「男女共同参画」の分野については特に、市役所が率先して取り組んでいく必要がある。
	【理事者ヒアリング結果】 亀岡市として、何を重点事項として男女共同参画の推進に取り組むのかを明確にし、効率的・効果的な施策の推進を図っていく。
全庁的に取り組むべきこと	・各事業について、市HPやSNS等を活用するとともに、関連団体等が発行している冊子への掲載など多様な媒体による情報発信を推進する。 ・市が発行しているチラシ、パンフレット等に広告を掲載することで、積極的に財源確保を図る。 ・長年にわたり取り組んできた事業について、内容や運営方法等の見直しや他事業との統合等、スクラップ・アンド・ビルドを進め、効率的な事業推進を図る。 ・亀岡市が職員向けに実施している研修に市内事業者も参加できる環境整備を進める。 ・市民や各団体が、得意とする分野について行政の政策決定過程等に参画いただけるよう、データベース化を進める。 ※スクラップ・アンド・ビルド…既存の事業の廃止・再編によって、新規事業による事務の肥大化を回避する行政運営手法。